




















































分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、経営者は会社のあるべき姿を従業員に説明し、共有している。 ・経営者と従業員がベクトルを合わせ事業に取り組むため、事業目的を明文化している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・事業目的に『コンプライアンスの遵守と社会貢献』を掲げ、法令遵守の規程やマニュアルにて、全従業員に向けて発信している。 ・コンプライアンス研修にて従業員への啓発を行い、ニュースやクライアントからのインシデント事例を従業員に情報共有し、注意喚起を行っている。															16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・事業目的に『取引先の信頼と安心の確保に基づくサービスの提供を目的とする』、『正しい倫理的価値観のもと、社員一人一人が、魅力ある人間形成を目指す』、『コンプライアンスの遵守と社会貢献』を掲げ、会社として公正な取引に努め、更に全従業員に向け、その重要性を発信している。 ・不正競争行為の禁止をマニュアルを用いて指導している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・個人情報保護管理者が兼務し、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対しても担当している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許、商標、著作権などの侵害排除についての規定を設けている。 ・従業員への知的財産教育を実施している。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報漏洩事故防止と適正な管理・運用の為『プライバシーポリシー』、『個人情報保護基本規程』、『安全管理手順書』を設けている。 ・プライバシーマークを取得(更新)し、PMSの適正な運用に取り組んでいる。 ・定期的に従業員に個人情報保護の重要性を勉強会・研修会を通して周知・指導を行い、情報漏洩防止の徹底に取り組んでいる。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・取引先企業と共通のサプライチェーンサステナビリティ推進ガイドラインを遵守することで、パートナーシップ及び認識の共有するように取り組んでいる。 ※必要に応じて説明会・意見交換会・監査等のダイアログ等にて実施															16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取組状況の確認を行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	R5年度BCPを策定し、中小企業庁の「事業継続力強化計画」の認定を取得した。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●	・社内で提供するコーヒー・紅茶(従業員及び来客)はフェアトレード商品を購入している。	1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・社内で差別のない、差別を許さない姿勢を持つべく、全従業員への周知を行い、研修の実施や相談窓口の設置をしている。 ・働きやすい職場環境を実現することを目的に、就業規則にハラスメント防止規程(従業員が遵守すべき事項や防止するための措置等を記載)を設け社内に浸透するよう取り組んでいる。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・感染症予防対策として、業務用循環型空気清浄機、プラズマクラスター空気清浄機を導入・設置している。 ・感染症予防対策として、不織布マスクの無料配布。 ・アルコール手指洗浄、手洗い励行のためペーパータオル設置。 ・全従業員への面談を定期的に行い、メンタルヘルス対策と職場定着に向けた取り組みを行っている。			3				8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金の原則に沿って就業規則の賃金規程整備を行い、各種手当等、雇用形態による支給格差を生じないように取り組んでいる。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・従業員の休み希望を反映させたシフト作成に努め、閑散期等でシフト体制に余裕がある場合は有給休暇の取得奨励などの働き方改革に取り組んでいる。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・従業員のキャリア向上のために資格取得を奨励し、就業規則に資格手当規程を設けている。 ・従業員へは自己啓発、教育訓練、キャリア向上につながる研修やセミナーの積極的に周知案内し、受講費用は会社負担している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・従業員の健康投資の重要性を理解し、社屋の一部にフィットネス施設を完備し、全従業員に向けて無料開放している。 ・従業員の健康に留意し、心身の不調を早期に発見できるよう対話に努めている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・役員等の役職人事に関して、多様な人材(女性、高齢者)が活躍できるように配慮している。 ・誰もが活躍できる働き甲斐のある会社を目指し、ソフト面・ハード面でのユニバーサルデザインの導入を進め、多様な人が働ける環境を整備に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・シフト制勤務にて、時間差勤務及び従業員の休み希望を反映したシフト作成を実施している。 ・出張、就業研修や会議を控えWeb会議・オンライン研修を積極的に導入している。 ・集合会議や研修の場合は人数制限にて少人数で実施している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・積極的にクラウドシステムの活用し、業務の効率化を推進している。 ※給与明細、見積書、請求書、契約書関連書類(一部)、社内のデータ共有及びファイリング、社内及び従業員間の連絡ツール、オンライン会議、Web面談、e-GOV・GビズID等を利用している。								8	9.1		11	12					
21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12						

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ペーパーレス(電子ファイリング、ワークフロー、リモート会議、研修、インターネットバンキング)の推進を図り、廃棄物の削減、温暖化ガス削減に取り組んでいる。 ・関係帳票の電子化の推進及び保管期間を短縮し、将来的な廃棄物の減量に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・エネルギー使用量の削減目標を定め、省エネを推進している(空調設定温度の適正化及び稼働時間の短縮等)。更なる省エネ計画については今後の検討課題としていく。 ・照明をLEDに切り替え、節電に取り組んでいる。 ・クールビズ、ウォームビズに取り組んでいる。 ・電力会社サイト及び請求書にて使用量を把握している。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・自然エネルギーの利用による温暖化対策の為、太陽光パネルを設置。 ・照明・家電は使用するときのみ電源を入れ、パソコンを使用しないときは電源オフ・スリープ状態する等の取り組みをしている。 ・エアコンを利用するまえに、換気等による風通しを良くしたり、防寒対策等の季節に応じた服装を心がけ、省エネに繋げる取り組みを実施している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・環境破壊につながる事を防止する取組みとして、会議・ミーティング・研修時などにおけるペーパーレス化の促進、FAX受信の電子化を実施している。 ・生態系への影響の低減化に貢献できるよう、事業活動において環境に配慮した商品の購入や使用に努め、従業員にはレジ袋・廃プラスチックなどの使用削減を呼びかけ実践を促している。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・コピー用紙・名刺は再生紙や環境に配慮した素材の利用を推進。 ・廃棄物は分別に努め、再資源化を推進している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・水資源の大切さを認識し、節水に取り組んでいる。 ※トイレ・洗面台に貼紙とテプラを掲示して意識改善の働きかけをしている。研修等のタイミングにて、『水道の使用後はスグに蛇口を閉めて節水にご協力ください!』と直接の呼びかけを継続している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5				14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・簡易包装や詰替え設計で再利用できる等、ゴミが少なく分別できる製品の購入に取り組んでいる。 ・電波ソーラー時計や繰り返し利用できるエコ電池を利用している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	・太陽光発電機の設置にてCO2削減の為の取り組みを実践している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	定期的に植樹ボランティアに参加している。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	プラスチックコップから、紙コップへの切り替えを実施している。												12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

チャレンジ項目記入数

12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・リスクアセスメントをより実践的なものにするために定期的に研修を行なっている。 ・残存リスクを把握し、暫定的な管理措置を講じて対応者の注意に委ねているが、時間的・経済的・技術的な側面から優先順位に応じたアプローチにて段階的なリスク低減措置を図るようにしている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・サービスご提案等、説明をする際に、英語や専門用語は必要最低限とし、誰もがわかりやすい言葉選びを心がけ、より良いサービス提供に繋がるよう社内共有している。 ・従業員や来客者が感染症対策の一環としてシンプルな動作で頻繁に手洗いができるよう、社内のハンドソープは全て泡タイプでフンブッシュ式の容器を設置している。フンブッシュ式は片手でも簡単に操作可能で、泡タイプは手洗いの動作の簡略化が図れ、シンプルかつ面倒な要素が排除できるので、液体せっけんから泡タイプへ変更している。									9.1	10	11.7					17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域の輪の為、次世代を担う子供たちの為、地元小学校に価値ある情報の提供を目的として、朝日写真ニュースの掲示に毎年継続し協賛している。 ・地元自治会のお祭りや子供相撲大会の開催時には毎年協賛金の寄付を実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・過去の災害を教訓に各種保険の加入をしている。 ・熊本市のハザードマップや避難計画を参考に防災に努め、従業員へも周知している。 ・ミネラルウォーター、簡易救急キット、防災グッズの備蓄をしている。				4							11.5		13.1		16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	会社玄関にAED(自動体外式除細動器)を設置している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1		16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	AED(自動体外式除細動器)の販売代理店として啓蒙活動に協力している。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・一人ひとりが日々の生活においてできることを考え、実践していけるよう、会社が従業員に対して情報配信や研修を実施し、SDGsへの意識浸透を進めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●				4					8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・人材紹介業を通し、地元の中小企業等(非公開求人含む)を知らない若者へ紹介し、職場見学・面談・コンサルにて就職支援をし、県内就職に尽力している。 ・県内出身者の採用に力を入れている。				4.4				8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。